6月1(生) 創心会リハビリ倶楽部玉島 創心会五感リハビリ倶楽部|玉島|新規オープン!

創心会リハビリ倶楽部ではどんなことをするのですか?

個々の生活スタイルに合わせたリハビリプログラムをご提案・ご提供します。 メンタル面から社会参加までを総合的にサポートしています。

五感リハビリ倶楽部とは何ですか? 脳に五感 (視・触・味・聴・嗅)からの刺激を与え、鈍っ た感覚を正常な状態に近づけるリハビリを行います。

5月11日(土)·13日(月)·14日(火) 内覧会開催!!

ご来所お待ちしております

注目ポイント

【実践調理 WEB 生中継】

毎月第4週土曜日に開催される実践調理では、リハビリ倶楽部水島の実践調理現場と WEB でリアル タイムに繋がります!目的は2つ。1つ目は、リハビリ倶楽部水島が2年間行ってきた実践調理のノウハ ウを玉島のご利用者様と共有すること。そして、もう1つは失敗や成功を分かち合う仲間(ピア)を増 やすためです。WEB 生中継を通じて、多くのご利用者様に「できる」をもっと「知って」頂きます。

【居宅における調理の自立を目指す】

実践調理では、デイサービス内だけでなく自宅でも調理を楽しんで頂けるようなアプローチを行います。 調理中は、麻痺があっても調理できるよう工夫や助言を行い、まずは調理に対する自信をつけて頂きます。 そして、調理レシピを持ち帰って頂くことで「自宅でもやってみよう」という気持ちを促します。

それに加えて、スタンプラリーを実施し、自宅で調理を行った際にはポイントが貰える仕組みを設けます。 ポイントを貯めると施設内通貨「ま~ブル」に換金することができるので、ご利用者様のモチベーション のアップが期待されます。

6 月の記念すべき実践調理スタートの料理内容は「ちらし寿司」です。 ※創心会リハビリ倶楽部水島も同メニューになります。

グループ会社 NPO法人未来想造舎和



就労継続支援B型事業所サービス開始

「和一久ステップ茶屋町」

開始時期:平成25年5月1日~

定員:10名(現在利用予定者6名)

時間:9:30~15:30

曜日:月~金(年末年始除く)

作業内容:椎茸加工、菜種油搾油作業、

洗車作業、清掃作業

「和一久ステップ笠岡」

開始時期:平成25年6月1日(予定) ※現在申請中

定員:20名(現在利用予定者 18名)

時間:9:30~15:30

曜日:月~金(年末年始除く) 作業内容:農業生産法人ど根性ファーム

にてネギの出荷調整、農作業

(草取り・育苗等)

詳細は、tel.(086)420-1500までお問い合わせください。







「障がい者雇用」への取り組み 介護福祉の現場が担える社会的役割

特 集 ご利用者様を生活主体者として捉える

障がい者雇用にみる 社会参加支援のあり方 創心会訪問看護ステーション

創心会リハビリ倶楽部 陵南

03 新規事業所開設情報

04 NPO 法人未来想造舎和一久

株式会社 創心

株式会社 創心會

特 集 ご利用者様を生活主体者として捉える

障がい者雇用にみる社会参加支援のあり方

脳出血発症から今に至るまで

創心會グループホーム「心から撫川」で勤務されている小崎文朗さん。 脳出血発症前は自営業を営まれていました。39歳という若さで脳 出血を発症。意識のない状態が1週間続き、目を覚ましてすぐに頭 に浮かんだのは仕事と家族のこと。「残している仕事はどうしよ う。」「収入は?」「子どもは?」障がいに対する不安や葛藤より、 目の前の現実的な問題で頭が一杯だったと言います。創心會との 出会いは、ケアマネジャーから『リハビリを頑張りたいなら』と 紹介された創心会訪問看護ステーションがはじまり。担当のPT岡 部さんとは、今では家族のように悩みを話せる間柄となっています。

働くことで得られるもの

創心会訪問看護ステーション(リハビリ)の担当者であるPT岡部さんとの関わりを通して「介護職」に興味を持ち始めた小崎さん。その頃には精神的な回復を実感出来ていたとのこと。「働きたい」との思いを口にした小崎さんに対し、岡部さんは創心会リハビリ倶楽部吉備のセンター長、人事部、ケアマネジャーの間で調整が重ねられ、晴れて創心会グループホーム「心から撫川」への就職が決定。「働く前は家に1人で居る事が多く、人と口を利くこともなく過ぎていく日が多かった。働き始めて楽しい事は、ご利用者様と会話できる事。体を動かすのでリハビリにもなっている。」と語る小崎さん。「自分に出来るかどうかは考えても仕方ない。とりあえずやってみるべき。」その言葉からは小崎さんの前向きな姿勢が感じられました。

障がい者雇用に対し

創心會では、ご利用者様を単なるサービスの受益者としてではなく、 あくまでも生活主体者として向き合う事をサービスの根幹に据えて います。障がい者雇用に関しても同じ。創心會で経験を積み、将来 的に活躍の場を広げて頂くための支援を行っています。

今回の事例における支援の流れ

訪問看護(リハビリ)に よるリハビリテーション ・心身の回復 GH「心から撫川」就職 ・企業へPRできる経験を積む ・就労に対しての自信をつける 将来的に ... 一般企業への 就職を目指す

と ... 美への 目指す

今回の事例におけるポイント

創心會 人事部の視点

(2) 採用を決めた理由は?

もっと出来るという前向きな姿勢が感じられた事と、 で利用者様でもある小崎さんに就職を通じてリハビリ に対する意欲を高めて頂きたかったから。

() 障害者雇用を行う際の配慮は?

対象となる方と仕事とのマッチングに配慮している。 受け入れ態勢が整っているか、通勤手段に問題は無い か等、周囲の環境の確認も欠かせない。





創心会リハビリ倶楽部 吉備センターの視点

()採用を決めた理由は?

ご利用者様 (小崎さん) の社会復帰の方法を模索していく中で、自センターからのステップアップが望ましいと考えたため。

(2) 障がい者雇用を行う際の配慮は?

障がいの内容をスタッフ間に周知させておくこと。 仕事内容については、ご本人の体調・能力を的確に見定め、 できる所から段階的に担当して頂く。

障がいがありながらにして勤務される方に期待する事。

将来的には吉備センターだけに留まらず活躍の場を広げ、同じ 障がいのある仲間ピア)にとっての生きた目標となって頂きたい。

創心会訪問看護ステーション 看護師・療法士合同勉強会

摂食・嚥下機能障がい者のリハビリテーションについて ~嚥下のメカニズムと摂食、嚥下障害の援助方法について学ぶ~

訪問看護ステーションでは月に1度、看護師と療法士による合同勉強会を開催しています。専門職としての資質を向上させることを目的とし、チームケアの更なる質の向上と個別性の高いサービスを提供する為に有用な時間となっています。今回は、チームアプローチにおける各々の役割も再確認できました。

- ●講師 言語聴覚士 大石廣氏
- テーマ 摂食・嚥下機能障がい者のリハビリテーションについて 〜嚥下のメカニズムと摂食、嚥下障害の援助方法について学ぶ〜
- 内容 私たちは、普段あたり前のように飲んだり食べたりしているが、 それが出来なくなると低栄養、脱水や肺炎のような身体へ悪影響 を及ぼす病気にかかることがある。食べる事は、生きるために最 も基本的で大切なこと。食事を通して香りや色、味を五感で感じ られるよう、摂食・嚥下障害の観察とポイントを中心に学ぶ。

【摂食・嚥下障害のパターン別に見る 観察とポイント】

食物の認識障害 2口へ取り込みの障害 3咀嚼と食塊形成障害 1、四頭への送り込み障害 5.食道通過障害



ST大石氏による嚥下勉強会は、実践を中心とした内容で大変分かりやすく、かつ効果を実感できた学びの多い時間でした。高齢者の姿勢や飲み込みの特徴を知り、誤嚥が起こるメカニズムを体感することで今まで以上に理解が深まり、実際にバナナやヨーグルトを使用して咀嚼・嚥下状態の確認、嚥下を促す手法を学ぶことで、誤嚥に対しての有効な対処方法を考える良い機会となりました。

創心會デイサービスの取り組み

「次」への可能性を見逃さない

スタッフと共に歩んだ6年間

創心会リハビリ倶楽部 陵南に通われる岡崎育夫様。利用開始から6年 が経ちました。当時は自分の意志からリハビリを行うことはなく だ言われるがままにメニューをこなしていたそうです だけに満足していた岡崎さんに対しスタッフは、食事の用意 用意など岡崎さんの「次」できそうな事を見逃すことなく わっていきます。「リハビリは苦痛ではありません 週4回リハビリ倶楽部に通われながら、岡崎さんはど ていきました。お若い頃からカメラがご趣味だった岡崎 年で撮影を再開され、季節を感じる風景写真を中心に られています。「元気な頃は、家の花壇の花をたくさん撮 よ。」カメラの話題になると表情が明るくなります。現在は 室にも通われており、教室のご友人と共に撮影に出かけ、 ムービーに編集されるまでに。取材が終わりに近づいたころ、 んが後楽園で撮影された満開の桜の写真をおみやげにくださいました。 「写真を人に見せる事はないです。」とおっしゃりながらもプレゼント を用意してくださったことにとても感激しました。自分の作品が周り に喜びを与えていること、次の作品を心待ちにしている誰かがいること。 周りの期待を受け、シャッターを切る岡崎さんの"もっとできる"が感 じられた素敵な瞬間でした。

